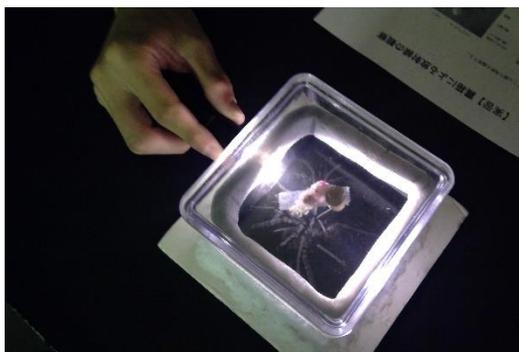
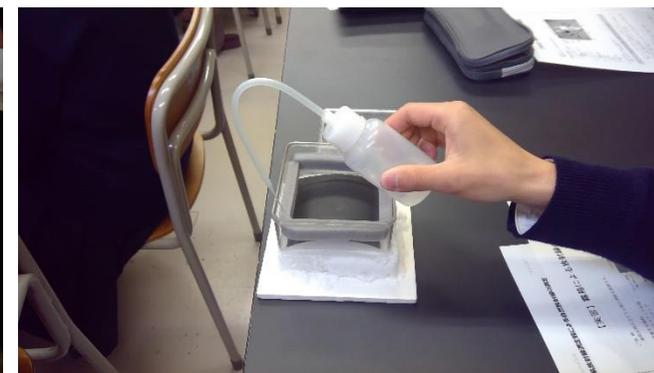
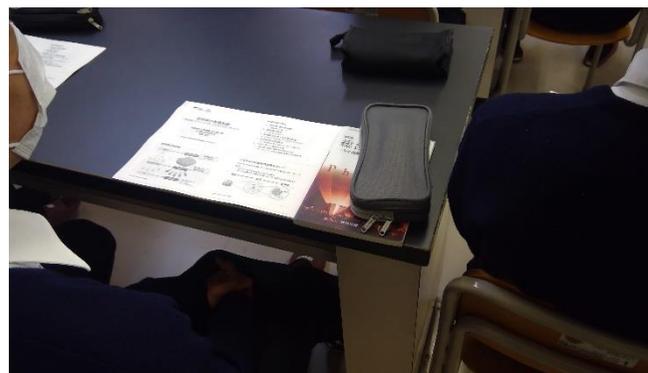




令和3年度 名古屋大学連携講義 富田英生 准教授

12月13日(月)3・4限に、2年生理系の物理選択者55名を対象に、東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科の富田英生准教授による講義が行われました。今回の講義では、放射線と放射性物質、放射線の性質、放射線の人体への影響と防護、放射線の利用と測定、エネルギーの現状と今後について学びました。放射性物質の不安定さを3人4脚で例えたり、放射線・放射能の単位(ベクレル・シーベルト)を雨と雨に降られる人で例えたり、新型コロナウイルス肺炎に関する利用例を紹介したりと高校生にもわかりやすく講義していただきました。また、霧箱を組み立てて放射線を観察したり、簡易放射線測定器を用いて校内の様々な場所の放射線を測定しました。実際に放射線を観察、測定した生徒たちは感嘆の声をあげていました。今回の講義を通して、放射線を身近に感じることができました!



↑霧箱で放射線を観察する生徒たち



↑簡易放射線測定器で放射線を測定する生徒たち

